

授業科目	聴覚障害Ⅲ（各論）				
担当者	田中美郷・野中信之・中井弘征・本庄良一・山口忍				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	2単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

聴覚障害児の療育／教育支援－私の50年にわたるライフワークからみた現状と課題－（田中）聴覚障害教育における指導・支援の実際について学ぶ（中井）難聴乳幼児の発見とことばを育てる関わり方について学ぶ（野中）補聴器適合の基本的スキルと、乳幼児・学童児・青年期の各年代ごとの補聴器支援・装用指導について実務上の留意事項を学ぶ（本庄）国家試験の聴覚障害・聴覚検査・聴覚系の疾患・補聴機器の基礎に対応する知識の習得・復習を行う（山口）

■ 到達目標

最新の知識を知り、今後の進むべき方向を発見してほしい（田中）個々の実態に合わせたコミュニケーション方法や指導・支援について理解できる（中井）難聴乳幼児のことばを育てるための関わりの技法や実際の療育の様子を知る（野中）1. 補聴器適合に関する具体的操作が説明できる 2. 補聴器装用指導上の留意事項を各年代ごとに説明できる 3. 補聴器援助機器の役割と適合について説明できる 4. 装用に関わる理解啓発指導について説明できる（本庄）模擬試験の聴覚障害領域の問題を、6割前後の正答率で解答できる（山口）

■ 授業計画

- 第1回 良き臨床家になるための条件（哲学と科学的思考、知識と知恵、感性と洞察力）（田中）
- 第2回 聴覚障害者の昔の姿と今の姿 聴覚障害児対策の昨今、最近の動向（田中）
- 第3回 聴覚障害児の療育／教育の目標 聾教育は人間化教育、その目標とするところは言語教育と人間形成（田中）
- 第4回 言語とは 聴覚言語・視覚言語・触覚言語（田中）
- 第5回 人間の聴覚、末梢聴器及び脳の両面から（田中）
- 第6回 私の50年余りの実践の成果と結論、今後の提言（田中）
- 第7回 難聴児の発見（野中）
- 第8回 難聴児のことばを育てる関わり（野中）
- 第9回 難聴児療育の実際Ⅰ（野中）
- 第10回 難聴児療育の実際Ⅱ（野中）
- 第11回 聴覚障害教育を理解するための歴史的経過（中井）
- 第12回 聴覚障害教育の実際Ⅰ（聴力の把握、聴覚学習）（中井）
- 第13回 聴覚障害教育の実際Ⅱ（言語指導・自立活動、進路）（中井）
- 第14回 教育機関での補聴器装用指導：ライフステージに合わせた指導と支援：乳児期（本庄）
- 第15回 教育機関での補聴器装用指導：ライフステージに合わせた指導と支援：幼児期（本庄）
- 第16回 教育機関での補聴器装用指導：ライフステージに合わせた指導と支援：学童期（本庄）
- 第17回 教育機関での補聴器装用指導：ライフステージに合わせた指導と支援：青年期（本庄）
- 第18回 聴覚障害の心理的援助（1）（山口）
- 第19回 聴覚障害の心理的援助（2）（山口）
- 第20回 聴覚障害の検査と評価（1）（山口）
- 第21回 聴覚障害の検査と評価（2）（山口）
- 第22回 聴覚障害児ケースワーク1（山口）
- 第23回 聴覚障害児ケースワーク（2）（山口）
- 第24回 聴覚障害児ケースワーク（3）（山口）
- 第25回 聴覚障害を来す疾患の復習1（山口）

- 第26回 聴覚障害を来す疾患の復習2（山口）
- 第27回 聴覚障害の遺伝子診断（山口）
- 第28回 聴覚検査の復習1（山口）
- 第29回 聴覚検査の復習2（山口）
- 第30回 まとめ（山口）

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

田中先生ご講義分のテキストは別途配布します

■ 教科書

田中先生のご講義時に配布予定

書名：私のライフワーク（聴覚障害児早期発見ー精査・診断ー早期療育／教育支援に関する実践研究）

著者名：田中美郷

出版社：田中美郷教育研究所

■ 参考図書

■ 留意事項

一部遠隔講義を含む。その他の対面講義においては、新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

我が国の聴覚医学の黎明期から今日まで絶え間なくリードしてこられた田中先生はじめ、聴覚障害児療育・支援教育をリードしてこられた野中先生、中井先生、本庄先生のご講義を、しっかり聴講してください。